

大会名 Competition	第54回秋田県高等学校新人 バスケットボール選手権大会
NO. A-4	Year Month Day Time 2013 年 1 月 13 日 13 : 30
場 所 Place	三種町琴丘総合体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チーム A		チーム B															
能代工高	<table border="1"> <tr><td>18</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>31</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>33</td><td>4th</td><td>8</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	18	1st	17	31	2nd	13	14	3rd	19	33	4th	8	OT			秋田西高
18	1st	17															
31	2nd	13															
14	3rd	19															
33	4th	8															
OT																	
96 ○		57 ●															

主審:Referee
小野寺 浩 (秋田)
副審:Umpire
水 木 順 二 (秋田)
テーブル・オフィシャル:Table officials
秋田県立秋田北鷹高等学校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	松 本 大 河	CAP	40	5	12	1	4	4	×	畠 山 大 輝	CAP	23	7	1	0	1
5	×	佐々木 健 登		7	0	3	1	2	5	×	寺 田 将 啓		7	0	3	1	4
6		嶋 田 榛 夏		-	-	-	-	-	6	×	鳥 海 祐 太		10	0	5	0	3
7	/	小田桐 匡 志		27	1	11	2	1	7	×	河 村 航 亮		2	0	0	2	3
8	/	長谷川 暢		6	0	3	0	1	8	/	田 中 命		0	0	0	0	0
9	×	砥 綿 啓 伍		0	0	0	0	0	9	×	五十嵐 勝 也		15	3	3	0	2
10	×	湊 俊 樹		16	3	3	1	1	10	/	吉 田 匠		0	0	0	0	1
11		安 保 友 貴		-	-	-	-	-	11		桜 庭 聖 弥		-	-	-	-	-
12		渡 邊 竜 也		-	-	-	-	-	12		淡 路 健 椰		-	-	-	-	-
13		幸 崎 竜 馬		-	-	-	-	-	13		桜 庭 光 人		-	-	-	-	-
14		猪 狩 涉		-	-	-	-	-	14		小 山 光 樹		-	-	-	-	-
15	×	荒 木 直 輝		0	0	0	0	1	15		畠 山 航		-	-	-	-	-
16		佐 藤 正 輝		-	-	-	-	-	16		葛 西 優 成		-	-	-	-	-
17		三 根 一 求		-	-	-	-	-	17		高 橋 樹 太		-	-	-	-	-
18		水 木 隼 隼		-	-	-	-	-	18		鈴 木 雄 太		-	-	-	-	-
19		長谷川 翔		-	-	-	-	-	19		高 橋 駿		-	-	-	-	-
20		児 玉 璃 生		-	-	-	-	-	20		沼 田 和 也		-	-	-	-	-
21		福 島 祐 希		-	-	-	-	-									
コーチ		佐 藤 信 長							コーチ		小 松 和 幸						
Aコーチ		平 山 智 哉															
合 計				96	9	32	5	10	合 計				57	10	12	3	14

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

決勝リーグ最終戦、事実上の決勝戦は秋田西対能代工の対戦となった。両チーム共にマンツーマンで試合がスタート。先行したのは秋田西。#9五十嵐が3Pシュートを決める。対する能代工も#10湊がゴール下に切り込み得点する。秋田西は全員でパスを回し、フリーの選手が確実にシュートを決め加点。能代工は#4松本の1対1や、厳しいディフェンスからの速攻で得点を重ねる。一進一退の第1ピリオドは18-17能代工1点リード。

第2ピリオドは出だしから能代工が引き離しにかかる。#7小田桐、#4松本の速攻を中心に連続得点で秋田西を引き離す。秋田西も#4畠山、#9小田桐の外角シュートで食い下がるが、能代工のディフェンスの前に得点できない時間帯が続く。気付けば49-30と能代工がこのピリオドで点差を大きく広げての折り返しとなった。

第3ピリオドも能代工はリバウンドからの速攻を中心に確実にシュートを沈めていく。このまま点差が開くかと思われたが、秋田西オフェンスリバウンドで勝利への執念を見せ#6鳥海のあわせのプレイ等で得点を重ねる。このピリオドは19-14と秋田西が5点点差を縮めて終了した。

迎えた最終ピリオド、なんとか追いつきたい秋田西だが、能代工のオールコートディフェンスがそれを阻む。オフェンスのリズムが作れない秋田西はディフェンスでも精彩を欠き、能代工の速攻のシーンが目立つ。結局大きく差を広げた能代工が96-57で52年連続52回目の優勝を飾った。